

規則変化動詞

1. are動詞 直説法現在形 (規則変化動詞)

イタリア語の動詞は下記の3種類に分けられます。

are 動詞

ere 動詞

ire 動詞

つまり、全ての動詞(の不定詞)がこの3つの語尾変化をもつのです。

夫々に規則変化と不規則変化があります。

ここではまず、are動詞の直説法現在形の規則変化を見ていきます。

- are			例 <i>cantare</i> 歌う	
単数	<i>io</i>	-o	<i>canto</i>	私は歌う(歌います)
	<i>tu</i>	-i	<i>canti</i>	貴方(君)は歌う
	<i>lui(lei)</i>	-a	<i>canta</i>	彼(彼女、貴方)は歌う
複数	<i>noi</i>	-iamo	<i>cantiamo</i>	私達は歌う
	<i>voi</i>	-ate	<i>cantate</i>	貴方たちは歌う
	<i>loro</i>	-ano	<i>cantano</i>	彼ら(彼女ら)歌う

* アクセントの位置に注意

三人称複数の動詞のアクセントの位置は三人称単数の時のアクセントの位置に戻ります。つまり、一人称複数形、二人称複数形は最後から2番目の音節にアクセントがありますが、三人称複数形は最後から3番目またはそれよりも前の音節にアクセントがある場合もありますので注意しましょう。

上記の例の場合、*cántano* (カントノ)のように太字の部分にアクセントが来ます。

* 辞書を引く場合の注意

イタリア語の辞書に動詞は不定形で出ていますから、変化した形を知らないと辞書が引けません。不規則になると大変複雑ですが、規則変化動詞については規則を覚えれば不定形を推測することが可能になります。

* 動詞の活用形が多いわけ

主語を省いて話すから。日本語の主語を言わないのは主体を曖昧にしたがる為だが、イタリア語の場合は、動詞を見れば主体が判るから。

いくつかの規則動詞の変化の例				
	entrare	parlare	amare	lavorare
	入る	話す	愛する	働く
io	entro	parlo	amo	lavoro
tu	entri	parli	ami	lavori
lui(lei)	entra	parla	ama	lavora
noi	entriamo	parliamo	amiamo	lavoriamo
voi	entrate	parlate	amate	lavorate
loro	entrano	parlano	amano	lavorano

わずかに変則的な動詞の例: 不定詞が-care, -gareで終わる場合2人称単数と1人称複数形の変化がそれぞれ-chi と -chiamo, -ghi と -ghiamoとなります。

不定詞が-iare で終わる場合、2人称単数形と1人称複数形のi+areの変化は

i+ - (何もない) と i+amoとなり、areの前に既に存在するiを生かした形で語尾がそれぞれ、-i と -iamoとなります。つまり-ii や-iamo にはなりません。

不定詞が-iareで終わり、かつ一人称単数形がiの上にアクセントがある場合には、二人称単数形のiを省略しないことがある。例) inviare 送る invio - invii - invia - inviamo - inviate - inviano

	giocare	pagare	studiare	mangiare
	プレイする、遊ぶ	払う	勉強する	食べる
io	gioco	pago	studio	mangio
tu	giochi	paghi	studi	mangi
lui(lei)	gioca	paga	studia	mangia
noi	giochiamo	paghiamo	studiamo	mangiamo
voi	giocate	pagate	studiate	mangiate
loro	giocano	pagano	studiano	mangiano

例文をいくつか見てみましょう

- 1)私は教授と話します **Parlo con il professore.**(parlare)
- 2)私達はテニスをします **Giochiamo a tennis.**(giocare)
- 3)君たちはゆっくり歩きます **Camminate lentamente.**(camminare)
- 4)彼はスパゲッティを家で食べます **Lui mangia gli spaghetti a casa.**(mangiare)